

世界小型株 厳選ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

第 **10** 期
決算日 2024年1月25日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2019年2月1日から2029年1月25日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 世界小型株厳選マザーファンド 世界の金融商品取引所に上場する株式
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式へ投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、アパディーン・インベストメント・マネジメント・リミテッドへ委託します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 世界小型株厳選マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回(原則として毎年1月および7月の25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

世界小型株厳選ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCIオールカントリー・ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	期騰 落率	期騰 落率	期騰 落率		
6期(2022年1月25日)	円 14,545	円 0	% △12.9	150.46	% △2.2	% 95.9	百万円 1,969
7期(2022年7月25日)	13,160	0	△9.5	158.96	5.7	97.0	1,574
8期(2023年1月25日)	13,124	0	△0.3	162.83	2.4	97.7	1,369
9期(2023年7月25日)	14,158	300	10.2	185.41	13.9	95.7	1,365
10期(2024年1月25日)	13,440	0	△5.1	196.76	6.1	—	787

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCIオールカントリー・ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2023年7月25日	円 14,158	% —	185.41	% —	% 95.7
7月末	14,195	0.3	185.73	0.2	94.0
8月末	14,195	0.3	187.31	1.0	90.0
9月末	13,720	△3.1	182.36	△1.6	92.4
10月末	12,906	△8.8	170.86	△7.8	93.1
11月末	13,756	△2.8	184.49	△0.5	—
12月末	13,476	△4.8	195.32	5.3	—
(期末) 2024年1月25日	13,440	△5.1	196.76	6.1	—

※騰落率は期首比です。

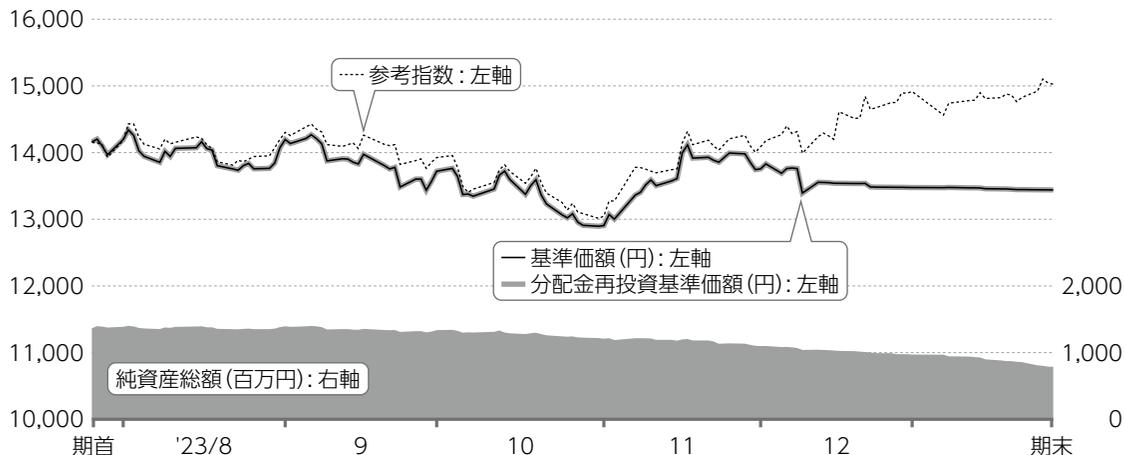
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	14,158円
期末	13,440円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-5.1% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資を行いました。

上昇要因

● マザーファンドで保有している銘柄の株価が上昇したこと

世界的にビジネスを展開する日本のスポーツアパレルメーカーのASICS Corporation (株式会社アシックス)は最も大きくプラスに寄与しました。同社は投資家向け説明会において言及したインドでの目標売上高が好感され、株価が上昇しました。

また、データ通信、電気通信市場向けの光学部品を製造するタイの精密部品メーカーのFabrinetもプラスに寄与しました。同社は「ビート・アンド・レイズ(市場予想を上回る決算を達成し、来期や今年通年のガイダンス(会社が発表する業績予想)を上方修正すること)」を実現した決算やガイダンスを発表していることに加えて、業界トップの地位を築いていることで、AI(人工知能)主導の需要の初期の恩恵を受ける企業の1つになると予想されています。

下落要因

- マザーファンドで保有している銘柄の株価が下落したこと
最も大きくマイナスに寄与したのは、米国の半導体大手のLattice Semiconductor Corpでした。
同社の7-9月期の決算は市場予想に沿ったものでしたが、産業用半導体と自動車用半導体に対する需要の冷え込みを背景に経営陣は10-12月期の業績予想を下方修正しました。半導体「FPGA (論理回路変換半導体)」を供給する同社は、マクロ経済状況の軟化にこれまで比較的影響されませんでした。したがって、10-12月期の業績予想の下方修正は市場にとって驚きでした。
また、米国の医療用機器メーカー Insulet Corporationもマイナスに寄与しました。デンマークの製薬大手Novo Nordisk A/Sが2型糖尿病や肥満患者の体重管理のための治療薬であるGLP-1 (グルカゴン様ペプチド-1) 受容体作動薬に関する臨床試験結果を発表したことを受けて、インスリン依存性糖尿病のためにインスリン注入システムを開発、製造、販売する同社の株価は下落しました。

投資環境について(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

期間におけるグローバル小型株式市場は大きく変動して推移しましたが、期間を通じては上昇しました。また、為替市場は円安となりました。

グローバル株式市場

グローバル小型株式市場は、期間の前半は世界経済の減速への懸念が高まり大きく下落しました。米国経済が底堅く推移し、インフレ率が高水準にとどまったことに加え、中東での軍事衝突の勃発により原油価格が下支えされたことから、金融引き締めリスクが台頭したことが背景にありました。11月以降は、米国、ユーロ圏、英国でインフレ率が市場予想よりも下振れしたことを背景に、グローバル小型株市場は大きく上昇しました。インフレ率の低下に加えて、原油価格が下落したことを受けて、米国と欧州の中央銀行による利上げ終了の期待が高まりました。F R B (米連邦準備制度理事会) などの主要国中央銀行が2024年に利下げを開始するとの見通しが強まり、リスク志向が高まりました。世界経済のリセッション(景気後退)入りリスクは後退してきたものの、世界の経済成長率は減速することが予測されました。その他の懸念材料としては、ウクライナと中東で現在進行中の軍事衝突や、中国政府による最近の景気刺激策にもかかわらず中国経済の先行きに対

する不透明感が依然として根強いことなどがあげられました。

為替市場

為替市場においては、先進各国の中央銀行が引き締めの姿勢を維持する中、日本銀行が緩和的な姿勢を継続したことで円安基調となりました。2023年の年末にかけては米国の利下げ観測が強まったことで円高に転じましたが、期間を通じては、円安・主要通貨高となりました。

ポートフォリオについて(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

当ファンド

主要投資対象である「世界小型株厳選マザーファンド」を、期間を通じて高位に組み入れました。

世界小型株厳選マザーファンド

台湾の衣料品メーカー大手のMakalot Industrial Co Ltdを新たに組み入れました。同社は世界の大手アパレルブランド・小売事業者へアパレルOEMおよびODMサービスを提供しています。同社の経営陣は、短期的には現在の在庫調整サイクルは終わりを迎えつつあると考えており、一方で中・長期的には、エンドマーケット(末端市場)での需要の伸び、現在進行中のサプライヤーの整理統合など業界からの有利な追い風に加えて、新規クライアントの獲得、生産能力の拡大、製品構成の改善などの経営陣主導の成長イニシアチブから同社は恩恵を受け続けると考えています。

また、米国の排水管メーカーのAdvanced Drainage Systems Incも新規購入しました。同社は米国での雨水管理用プラスチック製パイプなどの雨水事業やオンサイト浄化槽事業に特化しています。競合上の優位性は、現地製造、ディストリビューターとの強力

な関係、再生樹脂の調達を含む高水準の垂直統合などにあります。

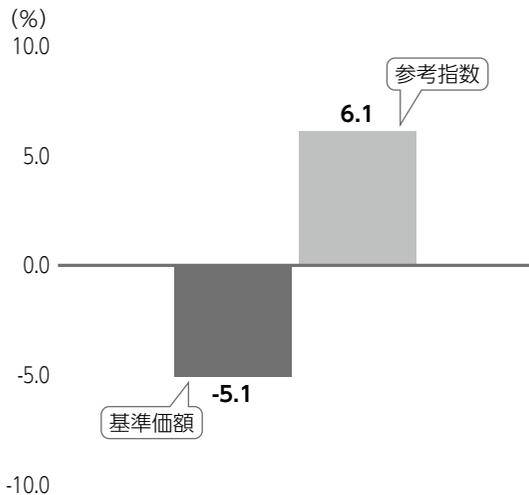
一方で、情報技術(IT)ベンダーである米国のPerficient Inc、およびイタリアのReply SpAを全売却しました。ITセクターは、マクロ経済環境の低迷を背景に契約の先送りやキャンセルが発生するなど、景気モメンタム(勢い)の減速から悪影響を受けています。こうした状況下で、この両社の決算およびガイダンスはいずれも期待外れの内容に終わりました。

また、米国のレンジリング事業者Darling Ingredients Incも売却しました。同社は、再生可能なディーゼル燃料のマージン低下圧力や、業界における過剰生産能力に対する懸念に直面しており、同社の高水準の負債ポジション、予想を下回る業務効率、新たな買収後の企業統合の問題などが懸念されました。

なお、ファンドの早期償還に向け11月に保有株式を全売却しました。

ベンチマークとの差異について(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第10期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	5,032

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

2024年2月に繰上償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

世界小型株厳選ファンド

1万口当たりの費用明細(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	133円	0.973%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は13,667円です。
(投信会社)	(74)	(0.542)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(57)	(0.415)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.036	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(5)	(0.036)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	5	0.034	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(5)	(0.034)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	89	0.649	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(34)	(0.251)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(-)	(-)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(54)	(0.399)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	231	1.692	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

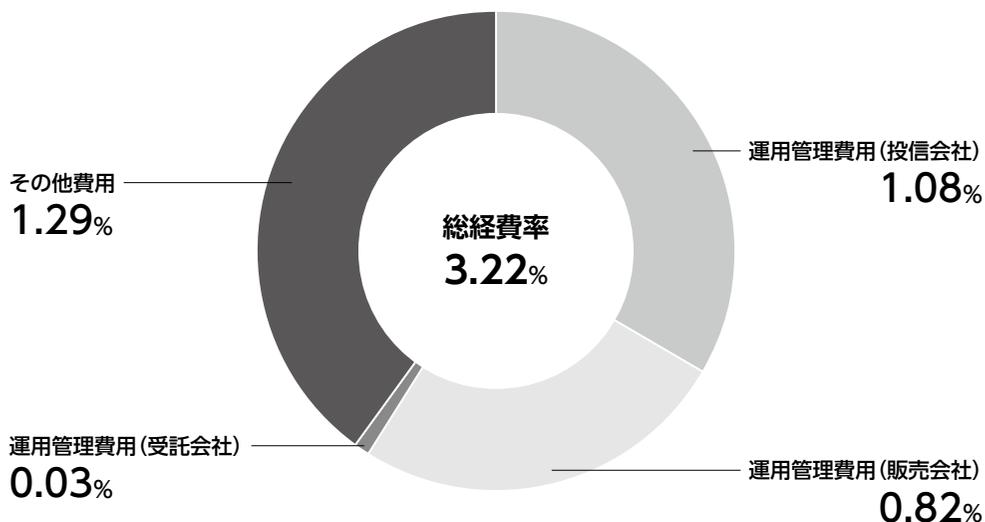
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は3.22%です。

世界小型株厳選ファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年7月26日から2024年1月25日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界小型株厳選マザーファンド	千口 13,310	千円 23,308	千口 311,855	千円 531,162

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年7月26日から2024年1月25日まで)

項 目	当 期
	世界小型株厳選マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,645,321千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,230,059千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	1.33

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年7月26日から2024年1月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

世界小型株厳選ファンド

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年7月26日から2024年1月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年1月25日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界小型株厳選マザーファンド	千口 761,980	千口 463,435	千円 785,198

※世界小型株厳選マザーファンドの期末の受益権総口数は463,435,299口です。

■ 投資信託財産の構成

(2024年1月25日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
世界小型株厳選マザーファンド	千円 785,198	% 95.7
コール・ローン等、その他	35,589	4.3
投資信託財産総額	820,788	100.0

※世界小型株厳選マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（△3,984千円）の投資信託財産総額（820,636千円）に対する比率は△0.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=147.86円です。

世界小型株厳選ファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	820,788,198円
コール・ローン等	4,142,521
世界小型株厳選マザーファンド(評価額)	785,198,427
未 収 入 金	31,447,250
(B) 負 債	33,011,873
未 払 解 約 金	21,330,056
未 払 信 託 報 酬	11,681,817
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	787,776,325
元 本	586,139,007
次 期 繰 越 損 益 金	201,637,318
(D) 受 益 権 総 口 数	586,139,007口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	13,440円

※当期における期首元本額964,488,674円、期中追加設定元本額72,924,075円、期中一部解約元本額451,273,742円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2023年7月26日 至2024年1月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 2,400円
受 取 利 息	1,837
支 払 利 息	△ 4,237
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 28,965,959
売 買 益 損	17,625,574
売 買 損 益	△ 46,591,533
(C) 信 託 報 酬 等	△ 11,682,060
(D) 当 期 繰 越 損 益 金(A + B + C)	△ 40,650,419
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	17,554,281
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	224,733,456
(配 当 等 相 当 額)	(180,976,977)
(売 買 損 益 相 当 額)	(43,756,479)
(G) 合 計(D + E + F)	201,637,318
次 期 繰 越 損 益 金(G)	201,637,318
追 加 信 託 差 損 益 金	224,733,456
(配 当 等 相 当 額)	(181,031,755)
(売 買 損 益 相 当 額)	(43,701,701)
分 配 準 備 積 立 金	110,876,689
繰 越 損 益 金	△133,972,827

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は4,098,024円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	184,083,037
(d) 分配準備積立金	110,876,689
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	294,959,726
1 万 口 当 たり 当 期 分 配 対 象 額	5,032.25
(f) 分配金	0
1 万 口 当 たり 分 配 金	0

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

世界小型株厳選マザーファンド

第5期（2023年1月26日から2024年1月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2019年2月1日）
運用方針	■世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株を主要投資対象とします。 ■組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ■運用指図にかかる権限をアパディーン・インベストメント・マネジメント・リミテッドへ委託します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCIオールカン트리・ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株 式 組 入 率 比	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率		
（設 定 日） 2019年2月1日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	百万円 250
1期（2020年1月27日）	12,184	21.8	114.12	14.1	96.7	2,017
2期（2021年1月25日）	16,787	37.8	134.11	17.5	96.5	1,810
3期（2022年1月25日）	17,284	3.0	150.46	12.2	95.9	1,970
4期（2023年1月25日）	15,913	△ 7.9	162.83	8.2	97.8	1,369
5期（2024年1月25日）	16,943	6.5	196.76	20.8	—	785

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCIオールカントリー・ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株 式 組 入 率 比
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2023年 1月25日	円 15,913	% —	162.83	% —	% 97.8
1月末	16,045	0.8	163.26	0.3	97.1
2月末	16,763	5.3	169.01	3.8	93.4
3月末	16,568	4.1	160.49	△ 1.4	97.6
4月末	16,502	3.7	161.70	△ 0.7	98.2
5月末	16,697	4.9	167.81	3.1	96.8
6月末	17,920	12.6	181.76	11.6	96.7
7月末	17,738	11.5	185.73	14.1	95.1
8月末	17,770	11.7	187.31	15.0	91.3
9月末	17,200	8.1	182.36	12.0	93.5
10月末	16,203	1.8	170.86	4.9	92.2
11月末	17,288	8.6	184.49	13.3	—
12月末	16,963	6.6	195.32	20.0	—
(期 末) 2024年 1月25日	16,943	6.5	196.76	20.8	—

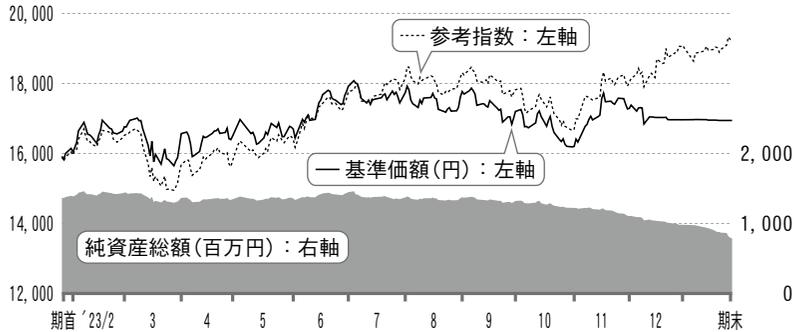
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2023年1月26日から2024年1月25日まで）

基準価額等の推移



期首	15,913円
期末	16,943円
騰落率	+6.5%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2023年1月26日から2024年1月25日まで）

世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none">・保有している銘柄の株価が上昇したこと 世界的にビジネスを展開する日本のスポーツアパレルメーカーのASICS Corporation（株式会社アシックス）は最も大きくプラスに寄与しました。同社は投資家向け説明会において言及したインドでの目標売上高が好感され、株価が上昇しました。 また、米国のアウトドアやスポーツ用シューズ・アクセサリーのメーカーのDeckers Outdoor Corporationもプラスに寄与しました。同社のコアブランドである「Hoka」と「Ugg」は力強い販売モメンタム（勢い）を示しました。同社経営陣は2024年春の新商品の発売開始を踏まえて、業績予想の上方修正も発表しました。
下落要因	<ul style="list-style-type: none">・保有している銘柄の株価が下落したこと 米国の医療用機器メーカーInsulet Corporationは最も大きくマイナスに寄与しました。デンマークの製薬大手Novo Nordisk A/Sが2型糖尿病や肥満患者の体重管理のための治療薬であるGLP-1（グルカゴン様ペプチド-1）受容体作動薬に関する臨床試験結果を発表したことを受けて、インスリン依存性糖尿病のためにインスリン注入システムを開発、製造、販売する同社の株価は下落しました。また、アイルランドのビデオゲーム業界向け技術サービス企業のKeywords Studios PLCは、AI（人工知能）の展開によって同社の事業が打撃を受けるとの思惑が広がったことからマイナスに寄与しました。

▶ 投資環境について（2023年1月26日から2024年1月25日まで）

期間におけるグローバル小型株式市場は大きく変動して推移しましたが、期間を通じては上昇しました。また、為替市場は円安となりました。

グローバル株式市場

期間の初め、グローバル小型株式市場は中国のゼロコロナ政策解除を受けた景気見通しの改善を受け上昇して始まりましたが、米国をはじめとする各国中央銀行の利上げ継続が懸念されると一転、軟調な地合いとなりました。3月に入ると米中堅銀行の破綻を契機とした欧米の金融不安が浮上し、3月中旬にかけ大幅に続落する展開となりましたが、その後各国政府・中央銀行による迅速な対策が好感され株式市場は落ち着きを取り戻す動きとなりました。4月、5月は発表された企業業績にばらつきがあったことや、米国債務上限引き上げを巡る議論の行方に関心が集まり、市場は揉みあいの展開が続きました。6月に入ると米国債務上限引き上げに関する妥協案が合意に達したことや各国のインフレ率に減速の兆しが見えたことが好感され株式市場は上昇基調となりました。その後、グローバル小型株式市場は、世界経済減速への懸念が高まり大きく下落しました。米国経済が底堅く推移し、インフレ率が高水準にとどまったことに加え、中東での軍事衝突の勃発により原油価格が下支えされたことから、金融引き締めリスクが台頭したことが背景となりました。11月以降は、米国、ユーロ圏、英国でインフレ率が市場予想よりも下振れしたことを背景に、グローバル小型株市場は大きく上昇しました。インフレ率の低下に加えて、原油価格が下落したことを受けて、米国と欧州の中央銀行による利上げ終了の期待が高まりました。FRB（米連邦準備制度理事会）などの主要国中央銀行が2024年に利下げを開始するとの見通しが強まり、リスク志向が高まりました。世界経済のリセッション（景気後退）入りリスクは後退してきたものの、世界の経済成長率は減速することが予測されました。その他の懸念材料としては、ウクライナと中東で現在進行中の軍事衝突や、中国政府による最近の景気刺激策にもかかわらず中国経済の先行きに対する不透明感が依然として根強いことなどがあげられました。

為替市場

為替市場においては、先進各国の中央銀行が引き締めの姿勢を維持する中、日本銀行が緩和的な姿勢を継続したことで円安が進みました。2023年の年末にかけては米国の利下げ観測が強まったことで円高基調となりましたが、期間を通じては、円安・主要通貨高となりました。

▶ ポートフォリオについて (2023年1月26日から2024年1月25日まで)

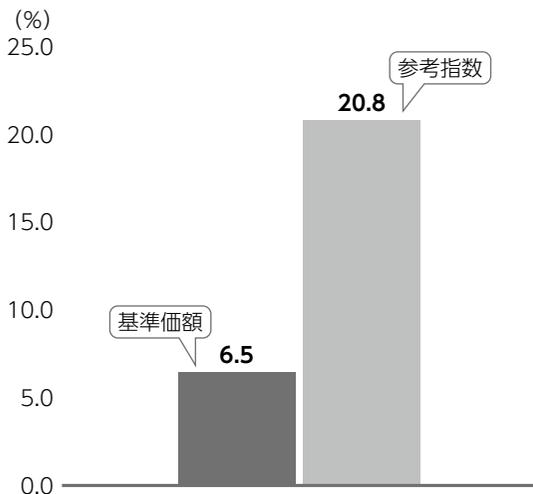
米国のディスカウントストア・チェーンFive Below Incを新たに組み入れました。同社はトゥイン（8歳から12歳の子どもたち）とティーンエージャー（13歳から19歳の若者）をターゲットにした専門小売店チェーンを運営する企業です。対象とする年齢層は、不確実性の高い環境では魅力的な購買層であると考えています。このほか、米国の製紙機器メーカーKadant Inc、日本の総合建材メーカー三和ホールディングス、米国セキュリティ製品メーカーのNapco Security Technologies Inc、動物獣医および関連サービスを提供する英国のCVS Group PLC、食品包装に使用される板紙を生産する米国のGraphic Packaging Holding Company、安全製品の製造、販売を手掛ける米国のMSA Safety Incorporated、米国の半導体部品メーカーのAxcelis Technologies Inc、台湾の衣料品メーカー大手のMakalot Industrial Co Ltd、米国の排水管メーカーのAdvanced Drainage Systems Incも新たに組み入れました。

一方で、米国のIT技術者向け情報提供ポータル運営会社TechTarget Incについては低調な業績予想を受けて売却しました。このほか、米国の自動車製造会社Shyft Group Inc、フランスのカスタマーサービスプロバイダーのTeleperformance、英国のソフトウェア会社Kainos Group PLC、オランダのバイオケミカル企業のCorbion NV、IT（情報技術）ベンダーでは米国のPerficient IncおよびイタリアのReply SpA、米国のレンダリング事業者Darling Ingredients Incを売却しました。

なお、ファンドの早期償還に向け11月に保有株式を全売却しました。

▶ ベンチマークとの差異について (2023年1月26日から2024年1月25日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIオールカントリー・ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

2024年2月に繰上償還のため、該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細 (2023年1月26日から2024年1月25日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	9円 (9)	0.051% (0.051)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.034 (0.034)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	129 (66) (63)	0.762 (0.388) (0.373)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	144	0.846	

期中の平均基準価額は16,966円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

世界小型株厳選マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年1月26日から2024年1月25日まで)

株式

		買 付		売 付		
		株 数	金 額	株 数	金 額	
国内	上 場	千株	千円	千株	千円	
		17.6	30,740	40.87	164,607	
外 国	ア メ リ カ	百株 167.45	千アメリカ・ドル 1,519	百株 689.47	千アメリカ・ドル 6,135	
	オ ー ス ト ラ リ ア	百株 108.33	千オーストラリア・ドル 70	百株 1,467.33	千オーストラリア・ドル 981	
	台 湾	百株 210	千台湾・ドル 6,695	百株 535.51	千台湾・ドル 22,722	
	イ ギ リ ス	百株 107.19	千イギリス・ポンド 183	百株 546.74	千イギリス・ポンド 692	
	ス ウ ェ ー デ ン	百株 10.44	千スウェーデン・クローナ 182	百株 143.93	千スウェーデン・クローナ 2,750	
	イ ン ド	百株 -	千インド・ルピー -	百株 119.53	千インド・ルピー 13,156	
	ポ ー ラ ン ド	百株 1.15	千ポーランド・ズロチ 45	百株 20.3	千ポーランド・ズロチ 889	
	ユ ー ロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ	
		オ ラ ン ダ	-	-	48.26	105
		フ ラ ン ス	2.23	26	31.34	390
国	ド イ ツ	9.9	39	124.32	559	
	ス ペ イ ン	5.65	14	69.48	168	
	イ タ リ ア	41.06	86	291.78	619	
	フ ィ ン ラ ン ド	5.55	9	86.17	150	

※金額は受渡し代金。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年1月26日から2024年1月25日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	2,144,787千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,298,168千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.65

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年1月26日から2024年1月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年1月26日から2024年1月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年1月25日現在)

(1) 国内株式

銘 柄	期首(前期末)	期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
建設業(一)			
ショーボンドホールディングス	4.7	—	—
その他製品(一)			
アシックス	13.9	—	—
情報・通信業(一)			
JMDC	4.67	—	—
合 計	千株	千株	千円
株数・金額	23.27	—	—
銘柄数<比率>	3銘柄	—	<—>

※銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

世界小型株厳選マザーファンド

(2) 外国株式

銘柄	株数	期		末		業種等
		株数	株数	評価額	評価額	
		株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
PAYLOCITY HOLDING CORP	16.56	—	—	—	商業・専門サービス	
POOL CORP	9.78	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り	
AXON ENTERPRISE INC	22.02	—	—	—	資本財	
LATTICE SEMICONDUCTOR CORP	56.45	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
YETI HOLDINGS INC	25.95	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
TECHTARGET	22.88	—	—	—	メディア・娯楽	
DARLING INGREDIENTS INC	42.81	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
SHYFT GROUP INC/THE	42.12	—	—	—	資本財	
ENVISTA HOLDINGS CORP	65.44	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
ALTAIR ENGINEERING INC - A	43.95	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
DECKERS OUTDOOR CORP	4.69	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
PERFICIENT INC	29.71	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
FOX FACTORY HOLDING CORP	14.65	—	—	—	自動車・自動車部品	
CARLISLE COS INC	9.35	—	—	—	資本財	
BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS	44.35	—	—	—	生活必需品流通・小売り	
SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	19.9	—	—	—	資本財	
TEXAS ROADHOUSE INC	15.87	—	—	—	消費者サービス	
INSULET CORP	11.09	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
FABRINET	24.45	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額 銘柄数〈比率〉	522.02 19銘柄	— —	— —	— 〈—〉	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円		
STEADFAST GROUP LTD	854.56	—	—	—	保険	
JOHNS LYNG GROUP LTD	255.75	—	—	—	資本財	
ALS LTD	248.69	—	—	—	商業・専門サービス	
小計	株数・金額 銘柄数〈比率〉	1,359 3銘柄	— —	— —	— 〈—〉	
(台湾)	百株	百株	千台湾・ドル	千円		
VOLTRONIC POWER TECHNOLOGY	30.05	—	—	—	資本財	
SINBON ELECTRONICS CO LTD	282.46	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ASPEED TECHNOLOGY INC	13	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数〈比率〉	325.51 3銘柄	— —	— —	— 〈—〉	
(イギリス)	百株	百株	千イギリス・ポンド	千円		
KEYWORDS STUDIOS PLC	104.06	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
KAINOS GROUP PLC	112.2	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
WATCHES OF SWITZERLAND GROUP	132.96	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り	

世界小型株厳選マザーファンド

銘柄		期首(前期末)		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
INTERMEDIATE CAPITAL GROUP		90.33	—	—	—	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	439.55	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	4銘柄	—	—	<—>	
(スウェーデン) ADDTECH AB-B SHARES		百株 133.49	百株 —	千スウェーデン・クロナ —	千円 —	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	133.49	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	—	—	<—>	
(インド) KPIT TECHNOLOGIES LTD		百株 119.53	百株 —	千インド・ルピー —	千円 —	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	119.53	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	—	—	<—>	
(ポーランド) DINO POLSKA SA		百株 19.15	百株 —	千ポーランド・ズロチ —	千円 —	生活必需品流通・小売り
小 計	株 数 ・ 金 額	19.15	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	—	—	<—>	
(ユーロ…オランダ) CORBION NV		百株 48.26	百株 —	千ユーロ —	千円 —	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	48.26	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	—	—	<—>	
(ユーロ…フランス) TELEPERFORMANCE GAZTRANSPORT ET TECHNIGA SA		百株 3.83 25.28	百株 — —	千ユーロ — —	千円 — —	商業・専門サービス エネルギー
小 計	株 数 ・ 金 額	29.11	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	2銘柄	—	—	<—>	
(ユーロ…ドイツ) JUNGHEINRICH - PRFD NEMETSCHKE SE CTS EVENTIM AG & CO KGAA		百株 54.24 9.53 50.65	百株 — — —	千ユーロ — — —	千円 — — —	資本財 ソフトウェア・サービス メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額	114.42	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	3銘柄	—	—	<—>	
(ユーロ…スペイン) CIE AUTOMOTIVE SA		百株 63.83	百株 —	千ユーロ —	千円 —	自動車・自動車部品
小 計	株 数 ・ 金 額	63.83	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	1銘柄	—	—	<—>	
(ユーロ…イタリア) FINECOBANK SPA REPLY SPA INTERPUMP GROUP SPA		百株 202.62 12.97 35.13	百株 — — —	千ユーロ — — —	千円 — — —	銀行 ソフトウェア・サービス 資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	250.72	—	—	—	
	銘柄 数 <比 率>	3銘柄	—	—	<—>	

世界小型株厳選マザーファンド

銘柄	柄	期首(前期末)	期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(ユーロ…フィンランド) KESKO OYJ-B SHS		百株 80.62	百株 —	千ユーロ —	千円 —	生活必需品流通・小売り
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	80.62 1銘柄	— —	— —	— <—>	
ユーロ通貨計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	586.96 11銘柄	— —	— —	— <—>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	3,505.21 43銘柄	— —	— —	— <—>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2024年1月25日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 820,636	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	820,636	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	820,636,797円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	820,636,797
(B) 負 債	35,434,069
未 払 解 約 金	31,447,250
そ の 他 未 払 費 用	3,986,819
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	785,202,728
元 本	463,435,299
次 期 繰 越 損 益 金	321,767,429
(D) 受 益 権 総 口 数	463,435,299口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	16,943円

※当期における期首元本額860,820,692円、期中追加設定元本額33,585,245円、期中一部解約元本額430,970,638円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は、世界小型株厳選ファンド463,435,299円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2023年1月26日 至2024年1月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	13,229,373円
受 取 配 当 金	12,762,070
受 取 利 息	152
そ の 他 収 益 金	503,445
支 払 利 息	△ 36,294
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	89,867,038
売 買 益	284,987,569
売 買 損	△195,120,531
(C) そ の 他 費 用 等	△ 10,267,802
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	92,828,609
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	509,024,050
(F) 解 約 差 損 益 金	△303,349,887
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	23,264,657
(H) 合 計 (D + E + F + G)	321,767,429
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	321,767,429

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。